

うない通信

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター Vol.11 2017年3月発行

第8回 九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄を開催しました!

平成28年11月11日(金)、琉球大学大学会館特別会議室において「第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin沖縄」が沖縄科学技術大学院大学との共同主催により開催されました。

このシンポジウムは、本学が参加する「九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(愛称Q-wea)」に参加する九州・沖縄地区の大学全12機関によって、平成21年度から毎年開催されているものです。

今回は、「九州・沖縄の国際化と女性研究者の役割」をテーマとし、女性研究者の国際舞台での活躍と各大学の女性研究者支援の特色ある取り組みを共有することで、九州・沖縄地域における女性研究者の活躍を促進させることを目的に開催しました。

シンポジウムでは、大城肇琉球大学学長による開会挨拶に続いて、沖縄県知事翁長雄志氏(沖縄県子ども生活福祉部参事 井上宏氏代読)および文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 唐沢裕之氏より来賓の挨拶がありました。

第1部基調講演では、東北大学原子分子材料科学高等研究機構長である小谷元子氏に、「異分野融合への挑戦」のタイトルでご講演いただきました。研究上の異分野融合が新たな「発見」につながった自らの体験のほか、東北大学における男女共同参画の歴史や女性研究者支援の取り組みなどについて紹介がありました。また、多様性が研究者にとっていかに重要であるかお話があり、若手研究者にエールが送られました。

第2部パネルディスカッションでは、「大学の国際化に果たす女性研究者の役割」をテーマに、10大学の理事・副学長がパネリストとして登壇されました。各大学の特色ある活動内容として、国際的に通用する研究力やリーダーシップの育成、海外拠点の役割、海外からの女性研究者のリクルーティング、「スーパーグローバル大学創成支援事業」獲得に関する取り組みなどが紹介されました。小谷氏に加え、科学技術振興機構プログラム主管である山村康子氏にもコメントーターとしてご参加いただき、国際化と女性研究者支援や採用、大学間ネットワークなどについて活発な意見交換が行われ、大学の制度や仕組みづくりといった環境整備が、女性研究者の活躍促進と大学の国際化の実現には重要であることが再確認されました。

最後に、シンポジウム参加者一同がダイバーシティの推進と女性研究者支援及び人材育成に今後も取り組むことを宣言した「Women Support 沖縄宣言」が採択され、閉会の挨拶をロバート・バックマン沖縄科学技術大学院大学副理事長・首席副学長よりいただき、シンポジウムは盛会裏に幕を閉じました。

シンポジウム終了後には参加者による懇親会が行われ、本学八重山芸能研究会の皆さん(登野城吉明さん、比嘉拓未さん、吉澤一輝さん、小幡僚佑さん、織田菜子さん)が八重山舞踊を披露しました。参加者は沖縄の雰囲気を楽しみながら親睦を深めると共に、来年福岡女子大学で行われる第9回シンポジウムでの再会を約束しました。



九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(Q-wea)事務局となりました

平成28年10月より「九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(愛称Q-wea)」の事務局を本学が担当することになったことを受けて、11月11日に行われたシンポジウム開会に先立ち、事務局引継ぎ式が行われました。

平成28年9月まで事務局担当校であった宮崎大学 伊達紫理事・副学長より、本学外間登美子理事(ダイバーシティ推進担当)へ事務局パネルが託されました。



Q-weaスペシャルミーティングを開催しました

平成28年12月1日(木)、「九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク スペシャルミーティング」を東京のTKPガーデンシティ竹橋で開催しました。

ミーティングにはQ-wea参加機関を含む全国の女性研究者支援を推進する研究・教育機関33機関から46名が参加し、日本大学の大坪久子先生によるミニレクチャーと意見交換が行われました。参加者からは、他大学の取組み等、有益な情報が得られたとの感想を多くいただくと共に、今後の継続的な開催や、九州・沖縄を越えた全国的なネットワークへの取り組みを期待する要望が寄せられました。



今後の予定

第1回
ダイバーシティ推進セミナー
地域活性化に果たす役割
～若手大学男女共同参画の取組から～

日時:平成29年3月6日(月)
13:30~14:30
場所:琉球大学50周年記念館
多目的室AB
講師:菅原悦子氏
(若手大学理事・副学長)

第2回
ダイバーシティ推進セミナー
ハワイ大学におけるダイバーシティ推進

日時:平成29年3月30日(木)
13:30~15:30(予定)
場所:琉球大学法文学部215教室
講師:知念ジョイス氏
(ハワイ大学沖縄研究センター
所長/教授)
テレサ・ビル氏
(ハワイ大学女性センター特任
教員) ※詳細は後ほど

**サイエンスプロジェクト
for 琉球ガールズ**

日時:平成29年3月27日(月)~
28日(火) 1泊2日
場所:石垣島天文台
(沖縄県石垣市新川1024-1)
国際サンゴ礁研究・モニタリング
センター(沖縄県石垣市八島町
2-27)
対象:県内高校に通う女子生徒
30名程度

募集予定

- H29年度育児サポート・サービス利用料補助事業 募集(3月頃予定)
- H29年度病児・病後児保育利用料補助事業 募集(3月頃予定)
- H29年度研究活動等支援員制度 募集(3月頃予定)

編集後記

青空の下、桜が満開に咲き誇る2月・3月の沖縄。今年1年を振り返ると、夏休みの学童保育やセミナーなど様々なイベントを開催することができました。中でも、本紙に掲載している「第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin沖縄」は事前準備など、これまでになく貴重な経験をする事ができました。またシンポジウムを開催するに当たり、学内関係者をはじめQ-weaの各大学機関の皆様にご支援・ご協力いただいたこと心より感謝申し上げます。

今後とも人と人の繋がりを大切にしながら、多様な人材が活躍できる環境づくりをサポートしていけるよう益々の推進に努めて参ります。ご理解・ご協力の程引き続き何卒宜しくお願い致します。(と)



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室
Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/

女性教員短期研究専念制度(試行)を実施しました

本学では今年度、本学に在職する女性教員の学術研究を推進し、本学の教育・研究の発展に貢献できる人材を育成することを目的に、当該教員が行う教育又は大学運営等の職務を一定期間免除し、その代替・支援措置を講じた上で、本学以外の教育研究機関等において一定期間研究又は学術調査に専念できる「短期研究専念制度」の試行を行いました。

今年度は、観光産業科学部の教授と、理学部の助教が採択を受け、最大6カ月の期間、本制度を利用し研究に専念しました。

第1回 スキルアップセミナー「英語論文個別指導」を開催しました

平成28年11月25日(金)および26日(土)本部棟第一研修室において、リンクサイエンス川上輪子先生をお迎えし、第1回スキルアップセミナー「英語論文個別指導」を開催しました。

このセミナーは、事前に参加者に2000wordsのサンプルライティングを提出してもらい、その後、ネイティブの原稿チェック、日本人の解説、スカイプでのフォローアップといった3段階方式で英語論文の個別指導を行うセミナーで、本学女性研究者6名が参加しました。各研究者の専門分野について具体的な個別指導が受けられるため参加者から「来年度も続けてほしい」「年に2回開催してほしい」と大変好評をいただきました。



第2回 スキルアップセミナー「英語論文ワークショップ」を開催しました



平成28年11月27日(日)医学部臨床講義棟において、リンクサイエンス川上輪子先生をお迎えし、第2回スキルアップセミナー「英語論文ワークショップ」を開催しました。このセミナーは、インターネット時代に対応した英語論文の書き方を実践練習とともに学ぶセミナーで、本学研究者11名が参加しました。このセミナーに合わせて託児室を開設し、2件の利用がありました。

第3回 スキルアップセミナー「英語ディスカッション」を開催しました

平成29年1月13日(金)本部棟第一研修室において、第3回スキルアップセミナー「英語ディスカッション」を開催しました。

講師に、ワシントン州立大学批判的文化・ジェンダー・人種研究科准教授、アメリカ研究プログラム長のPamela Thoma先生をお迎えし、「仕事、正しいケア、女性の健康」というテーマでお話頂きました。また、先生から事前にThe New York Timesの記事を読むことが課題として出されており、この記事の内容や先生が提示されたトピックを元にディスカッションが行われ、女性の活躍とワークライフバランス、そして健康問題について、アメリカの事例などから活発な議論が交わされました。



英語でおこなうリーダーシップ研修 「女性研究者のための効果的なコミュニケーション術」を開催しました

平成29年2月15日(水)、16日(木)の2日間、琉球大学本部棟第一会議室及び第一研修室において、平成28年度英語でおこなうリーダーシップ研修「女性研究者のための効果的なコミュニケーション術」を開催しました。

ルミナラーニングジャパンよりエリザベス・ハドローバー氏を講師にお迎えし、自分の発信力、相手への対応力、リーダーとしての振る舞い方など、教員として、研究者として、リーダーシップが求められる様々な場面で役立つコミュニケーション術を英語で学びました。

参加者が事前に回答したアンケートデータを元に作成されたリーダーシップの自己診断を中心に、それぞれが自分自身を知り、自分の素質を高めるユニークかつ有意義なプログラムが2日間に渡り行われ、自分のスピーチを動画で撮影し改善点を確認したり、シチュエーションに合わせたロールプレイを行うなど、すぐに実践できるテクニックなどを学びました。研修には、琉球大学をはじめ、沖縄大学、沖縄科学技術大学院大学、宮崎大学から、日頃から教育や研究の現場で実際に英語を使用している女性教員12名が参加しました。



平成28年8月～平成29年2月の主な活動報告

夏休み学童保育2016を行いました

平成28年8月1日(月)～5日(金)の5日間、夏休み学童保育を行いました。会場に附属中学校の教室をお借りし、教職員の児童24名が元気に過ごしました。

期間中、NPO法人ライフサポート・ささえ愛による遠足などのプログラムの他に、遠藤洋志先生(教育学部)のご協力による体育館でのレクリエーションや、岡本牧子先生(教育学部)と学生による工作「和紙でつくるランプシェード」、高良宣孝先生(法文学部)による英語プログラム「カタカナ英語でレッツエンジョイ!」、そして日本サンゴ礁学会若手の会の皆さんによるサンゴ礁の生き物観察など、毎日充実したプログラムが行われました。

教員や学生の皆様にはたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。



大学入試センター試験において託児室を開設しました

平成29年1月15日(日)、本学の教職員の仕事と生活の両立を支援することを目的に、大学入試センター試験時における託児室を開設しました。大学会館特別会議室を会場に、教職員の子ども3名をお預かりし、西原ふぁみりーさぼーときらきらによる保育が行われました。ジェンダー協働推進室では、大学入試センター試験だけでなく、一般入試(前期・後期日程)においても託児室を開設しました。



平成28年度 育児サポート・サービス利用料補助事業

本学では、教職員の仕事と家庭の両立を支援するため、育児支援の一環として育児サポート・サービスを利用する際の利用料の一部を補助しています。

今年度からは、新たに自治体等が運営するファミリー・サポート・センターを利用する場合の利用料を支援対象とし、採択者に利用券を交付しました。

平成28年度 国際学会派遣費用助成事業及び英文校閲費用助成事業

本推進室では、平成24年度より女性研究者のキャリアアップを推進することを目的に、国際学会等に参加するために必要な旅費を全額又は一部助成する「国際学会派遣費用助成事業」と、学術雑誌への投稿論文や学会発表用の英文校閲に係る費用を助成する「英文校閲費用助成事業」を行っています。

今年度は、「国際学会派遣費用助成事業」に第1期2名、第2期2名の計4名、「英文校閲費用助成事業」では第1期4名、第2期1名の計5名を採択し、支援しました。

教授会においてFD研修を行いました

前号でも紹介した学部教授会におけるFD研修の実施を、右表の日程で完了しました。研修では、本学における女性研究者の採用・在職比率や女子大学院生の在籍比率等を示しながら女性研究者の積極的採用と登用、支援の必要性について説明するとともに大学におけるダイバーシティ推進の重要性、各種支援事業や制度等について紹介しました。

開催日	
5月25日	農学部教授会
6月22日	工学部教授会
7月27日	医学部教授会
8月17日	理学部教授会
9月21日	教育学部教授会
10月26日	法文学部教授会
11月9日	観光産業科学部教授会

